

継続事業評価調書

【交通安全事業】

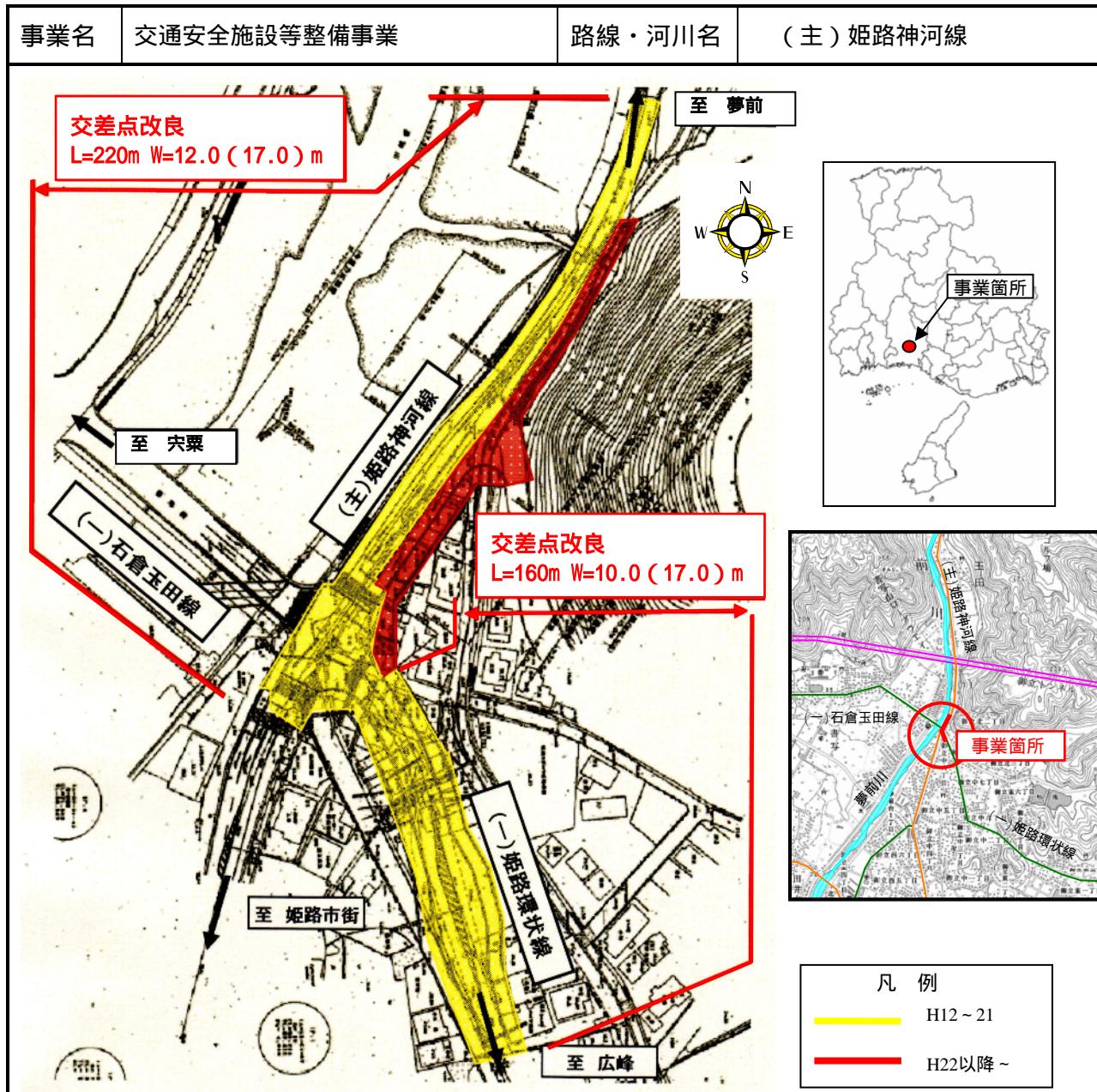
土木局道路保全課

投資事業評価調書（継続：再評価）

部課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 杠 典英 (交通施設係長 鎌水 正和)	内線	4389 (4399)
------	-------	---------------------	-------------------------------	----	----------------

事業種目	交通安全	事業名	事業区間	総事業費	8.9 億円			
		交通安全施設等整備事業 (主)姫路神河線	姫路市御立	内用地補償費	7.6 億円			
所在	地	事業採択 年 度	着工年度	完成予定 年 度	進捗率 (内用補進捗率)			
姫路市御立		H12	H12	H22	残事業費 0.4 億円			
事業の目的			事業内容					
<ul style="list-style-type: none"> ・本交差点は、(主)姫路神河線と(一)姫路環状線、(一)石倉玉田線との交差点であり、姫路市北部・西部から姫路市街方面への交通が交わることから、朝夕は慢性的な渋滞が発生している。 ・そのため、付加車線の設置や線形改良による交差点改良を行うことにより朝夕の渋滞の解消を図り、交通の円滑化を図る。 			<p>交差点改良(付加車線整備、線形改良) $L = 380m$ (主)姫路神河線 $L = 220m$ 【計画】車道 $3.0m \times 4 = 12.0m$ 自転車歩行者道 $3.0m$(片側) 【現況】車道 $3.0m \times 3 = 9.0m$ 自転車歩行者道 なし (一)姫路環状線 $L = 160m$ 【計画】車道 $3.0m \times 3 = 9.0m$ 自転車歩行者道 $3.0m$(両側) 【現況】車道 $3.0m \times 2 = 6.0m$ 自転車歩行者道 なし</p> <p>【負担割合】国: 5/10、県: 5/10</p>					
事業を取り巻く 社会経済情勢等 の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・事業着手時と比べ(主)姫路神河線の交通量は若干増加しており、渋滞も発生していることから事業の必要性は高い。 (12,449台/日(H11交通センサス) 13,008台/日(H17交通センサス)) 							
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備が完了した(主)姫路神河線の右折レーン、(一)姫路環状線の右折レーンを供用している。 ・平成21年度の事業完了を目指して整備を進めてきたが、用地の代替地の選定に時間を要し工期を1年延伸する。 ・平成21年度中に用地取得を終え、平成22年度には(主)姫路神河線の左折車線と歩道を整備し、事業を完了する予定である。 							
評価視点	評価結果の説明							
(1)必要性 [交通状況]	<ul style="list-style-type: none"> ・(主)姫路神河線の右折レーン、(一)姫路環状線の右折レーンを供用し、渋滞は緩和されたが、(主)姫路神河線の直左折交通を交差点で処理できておらず、渋滞が発生している。(最大渋滞長 H12:2,200m H16:750m、H20:300m) ・自動車交通量、自転車交通量が多い。 (自動車: 12,561台/日、歩行者: 59人/12h、自転車 365台/12h) ・過去5年間の全事故件数は7件(うち自転車・歩行者の交通事故は2件)。 							
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路神河線の直左車線を左折・直進に分離することにより渋滞が解消する。 ・平成21年度中に用地取得、物件補償が完了する予定であり、H22年度完成に向けた円滑な事業執行が可能である。 							
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞の解消により大気汚染や騒音など沿道環境の改善が図れる。 ・歩道部の透水性舗装により、雨水を地下に還元することができる。 							
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な交通確保のため、早期の整備が必要。 							
再評価の結果	継続	左の理由	事業の必要性は事業採択時と変わらず、早期に渋滞を解消する必要があることから、継続して事業を実施する必要がある。					

事業進捗状況概要図（継続：再評価）



	事業進捗状況・予定	整備効果
全体	H12 ~ 22 年度【事業費 = 8.9 億円】 [(主)姫路神河線]右折車線整備、左折車線整備、歩道整備 [(一)姫路環状線]右折車線整備、歩道整備、線形改良 用地約 2,900 m ²	
過去 10 年間	H12 ~ 21 年度【事業費 = 8.5 億円】 進捗率 96% [(主)姫路神河線]右折車線滞流長延伸完了 用地進捗率 99% (H21年3月末) 100% (H22年3月末予定) [(一)姫路環状線]右折車線整備、歩道整備、線形改良完了	整備完了箇所の供用により、渋滞が緩和された。 (H12: 2,200m H16: 750m, H20: 300m)
今後 1 年間 (予定)	H22 年度【事業費 = 0.4 億円】 [(主)姫路神河線]左折車線整備、歩道整備完了予定	本交差点での渋滞が解消される。

概要図

交差点改良
(主)姫路神河線
姫路市御立
(交通安全施設等整備事業)



至 夢前

至 宍粟
(一)石倉玉田線

交差点改良 $L=220m, W=12.0(17.0)m$

最大渋滞長
 $H16: 750m$
 $H20: 300m$

(主)姫路神河線

交差点改良 $L=160m, W=10.0(17.0)m$

(一)姫路環状線

至 姫路市街

至 広峰

凡 例

供 用
未 整 備



標準断面図

主要地方道姫路神河線

整備前

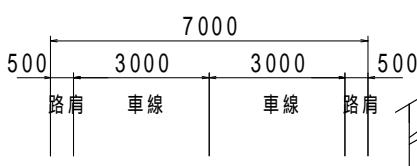


整備後



一般県道姫路環状線

整備前



整備後



渋滞状況写真



当初計画及び実施工程

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
調査・設計	■										
		■									
用地補償		■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			■	■	■	■	■	■	■	■	
本工事		■	■	■					■		
			■	■	■					■	

凡 例
 当初計画
 実施計画